

●尿吸引ロボヒューマニー本体



●センサー内臓の尿吸引パット



尿吸引パットに内蔵されたセンサーが排尿を検知し、尿を瞬時に自動吸引します。タンクにたまった尿は、簡単にトイレに捨てることができます。

朝までお肌を濡らさない

人と地球に
やさしく

ヒューマニーは、尿パッドに埋め込まれているセンサーが尿を感じると自動的に尿を吸引する小型の介護ロボットです。最大のポイント

トは、尿漏れで困っている方やおむつ交換でなかなか眠れない方が、朝までぐっすりとお休みいただけることです。また、尿とりパッドのように、尿をパッドに溜めないため、パッドが尿で重くなることもなく、ゴミの重量や地球温暖化ガスの二酸化炭素の排出量も大幅に削減されます。

排泄の問題が解決

最近、赤ちゃんのおむつ交換台や身障者用トイレは一般的になっ

てきました。が、大人の方がおむつを交換する場所はまだありません。例えば、長時間の外出や旅行の際には、排泄介護の面

一人ぼっちじゃない

実績のある日立製作所が共同で開発しました今までにない新しい排泄ケア商品です。

今号では、さくらメディカルのヒューマニーレディーをご紹介します。

ロボットと作る介護の未来実現

尿吸引ロボヒューマニー

から考えると不安も多く、お楽しみをあきらめてしまいうこともありま。このような時には、バッテリーを追加したヒューマニーを車いすのハンドル部分などにかけて移動することによって、排泄介護の問題が解決します。

百聞は一見にしかず

「機械は苦手!」「ロボットが介護?」という方もまずは見て触っていただき、実際に使えるかどうかをお試しください。

発売されて約半年が過ぎ、実際にご購入されたお方には好評をいただいております。ヒューマニ

ーはまず、お試しかれて、効果を実感していただくことが大切です。また、もう一つのケア機能として、排泄物の色や量を直接確認できることが挙げられます。

ヒューマニーでみんな笑顔に

排泄ケアはとても大切ですが、とても大変な介護の一つです。ヒューマニーを排泄介護の選択肢の一つに加えていただければ幸いです。ヒューマニーを使ってい

ただ、これによって、ほんの少しでも時間のゆとりを持っていただければ、介護する方も、また、介護をされる方も毎日が笑顔で暮らせるのではないのでしょうか。

簡単再利用袋でお洒落に

「蓄尿袋」の羞恥心を解消!

病気や障害などによって、自然な排尿が困難な方が受ける治療の一つに「持続的導尿治療」があります。この治療では、排尿管理は改善

されますが、体外に設置される半透明の「蓄尿袋」に羞恥心を抱く方も少なくありません。羞恥心は、老若男女に関係なく感じるものであり、社会的な活動を心理的に妨げる要因にもなります。

最近、インターネットなどでも蓄尿袋用のカバーが販売されています。トなども蓄尿袋用のカバーが販売されています。トなども蓄尿袋用のカバーが販売されています。



ちょっとした工夫で行動に自信が... (ショップでご相談下さい)

が、無地のビニール素材で価格も割高な物が多く、好みのデザインでお手頃価格のカバーが見当たありません。そこで、ご家庭で不要になった子供服やエプロンなどを再利用してお気に入りのカバーを作ってみました。

蓄尿袋はメーカーや容量によって大きさや形が異なりますが、縦横の寸法だけ合わせれば、意外と簡単に作れます。また、布地をわざわざ買う必要もなく、経済的にも優れたものです。

手作りのカバーでお洒落心を楽しんでみてはいかがでしょう!

訪問入浴課 関 真人 (オペレーター)

ヒューマニーレディーがお届けします

「ロボット」などと聞くと、「買った後がちょっと心配!」という方も多いと思います。さくらメディカルでは、排泄ケアのご相談にお応えする「ヒューマニーレディー」を養成し、応援いたしますのでご安心ください。

ヒューマニーレディーは、商品の取扱方法をはじめ、排泄ケアの基礎知識や技術を持ち、お客様からのご相談に応じて適切な排

「買ってしまっただけで使いこなせない!」のは、私たちも悲しくなっています。ヒューマニーのことなら私たち「ヒューマニーレディー」にお任せください!

長岡支店 古川宏子

(福祉用具専門相談員)

次頁にはヒューマニーを使用されている方の記事掲載します。

ご夫婦の愛が在宅介護に幸せ感を

介護の負担を少なくする

「尿吸引ロボ・ヒューマニー」

がお手伝い



キシ様と共に歩むパートナー
ワンちゃんも含めた4人家族に新しく
「ヒューマニー」(左下)も仲間入り

長岡市浦瀬町にお住まいの
土田キシ様(九十七歳)は要
介護5で、ほぼ寝たきりの状
態ですが、食事は自分で摂ら
れ、車椅子にも乗られ、意識
はしっかりしておられます。
昨年までは歩行もされてお
りましたが、トイレで転倒さ
れる事が度々ありました。そ
のため、夜間はトイレに行く
度にご家族が介助していまし
たが、このことでご家族が大
変な寝不足になりました。そ
の上、少しずつ筋力が衰え、
自力で立つことができなくな
りました。

それでも、尿漏れがあり困
っておられました。
そんな時、当社宛に訪問看
護の方から連絡があり、ご紹
介頂きました。早速「尿吸引
ロボ・ヒューマニー」(1面
に紹介)を試験的にご使用し
て頂いたのが、今年の三月
二十五日。その日の夕方から
朝方までをレポートしますと、
尿量は、夜間800cc、朝
200ccでテープ止めオムツ
のお尻側に片手ほどの尿漏れ
がありました。

「こんなに、おしっこがい
っぱい出ているのだから、尿
漏れの理由もわかります」。
これはお試し当時の感想です。
初日の不慣れで多少の漏れ

私たちだけじゃない、みんなで見守っている介護

●地震が鍬と元気を奪う

開□一番、旦那様の茂
雄様から、「ヒューマニ
ーを使うようになって、
夜のオムツ交換がないつ
ていうのがいいね、助か
った……」という言葉か
らインタビュが始まり
ました。

キシ様を「高齢でもあ
ることなので、最期まで
施設などを利用しないで
開□一番、旦那様の茂
雄様から、「ヒューマニ
ーを使うようになって、
夜のオムツ交換がないつ
ていうのがいいね、助か
った……」という言葉か
らインタビュが始まり
ました。

在宅で看たいと決めた
という末っ子のご夫婦。
一昨年前の介護は大変で
したと語ります。
中越地震で自宅を襲つ
た大規模半壊、これがキ
シ様の体力を低下させた
ようです。中越地震の前
までは、野良着を着て畑
仕事に汗を流していたが、
仮設住宅で9ヶ月、ぼん

「親にやってあげたい介護」
には中心になりながら
介護できたのも「幸せで
す」と言われました。兄
や姉たちにもそれを誇
れるそうです。
そんな二人三脚の介護
がヒューマニーを使い始
めることによって大きく
変わりました。



自宅で看たいと決めた
土田 茂雄 様

やり何もしないでいるよ
り仕方なかった生活が
悪かったと振り返ります。
九十歳を超えて生活の中
心を奪われたことがどれ
ほどダメージを与えられ
たか、計り知れないもの
があります。
一昨年の暮れ、一度お
尻をついたら立ち上がる

ことができなくなったの
です。それでも、立ち上
がることができたので
す。が、転んで怪我を負う事
もありました。筋力の衰
えと気力の衰えは農作業
へのやる気を失わせ、ベ
ッド上での生活へと変わ
りました。

介護簡単メニュー

豆腐のつくね揚げ で夏バテを予防



疲れやすい人は、消化の
よい良質のたんぱく質を十
分に摂って、体力をつけましょ
う！今回は簡単に手
に入り、また、いつでも家にある野菜や保存食を利用
して、「豆腐のつくね揚げ」を作りました。

作り方(4人分)

- ① もめん豆腐(1丁400g)を布巾に包んで重しをし、
厚みが2分の3位まで水切を絞る。
- ② 長いも(皮を剥いた状態で80g)をおろし金でお
ろし、溶き卵2分の1個をあわせておく(長いもの
色の変色を防止)。
- ③ 乾燥しいたけのスライス(20g)を水と砂糖小さ
じ2分の1位を入れて戻す。5～6分で戻るので軽
く絞りみじん切にする。
- ④ ニンジン(皮を剥いた状態で20g)をみじん切に
する。
- ⑤ ボールに①のしほり豆腐を手でほぐし、その中に
②の長いも、③と④のみじん切、青のり(小さじ1)、
塩、ごま少々、顆粒だし少々をかき混ぜ、平たいだ
んごにする(平均に揚がるように真ん中の方にもく
ほみをつける)。
- ⑥ サラダ油160℃位の温度でカラリと揚げる。
- ⑦ つけ汁はだし汁(カップ2分の1、こんぶつゆ小
さじ1、砂糖小さじ2分の1、しいたけ戻した水
も一緒に使用する)を煮立てる。
- ⑧ やくみ(おろし大根、おろし生姜)は適量。
- ⑨ 盛付けたらだし汁をかける。

高田訪問介護課 板倉寛子(介護食士)

奥様が数日間、家を留守にされたときです。

今までの介護ではオムツ交換が大変でした。年齢的にもすぐに肌がかぶれるので、一日中、頻繁にオムツを交換していなければなりません。

介護する方は、疲労がたまってくると腕が痛くて曲がらないような状態になります。今まででしたら、悲鳴をあげたくなことも、ヒューマニーで助かったのです。

オムツも昼間仕事の合間に来て、換える必要がないので見に来るだけという状態になりました。でも、いくらヒューマニーが入っても介護は私人ではできません、と旦那様は言われます。

奥様と旦那様は介護の役柄を決めずお互い出来ることから対等に続けているそうです。排便のお手伝いも奥様と旦那様の二人で行っています。だから、独り立ちした三人のお子様も家に帰ってくると率先して手伝います。男のお子様も下の世話を嫌がりません。親が祖母に愛情を持って接していれば子どももお手本にします。

よく、旦那様が奥様のいる前でキシ様の面倒を見ようとする、「男の

癖に女の裸を見たがる」と冗談を言うそうです。

在宅での介護は綺麗ごとばかりではありません。それでも今は、肉体的には大変でも、精神的には幸せとのこと。「どうせやるなら楽しんで方がいい」と時々キシ様に冗談を飛ばしながら二人で介護しています。

「もう一つ……」と旦那様は付け足しました。「タンクに溜まった尿が確認できるのがいい。尿が少ないときは水分を



奥様の土田 裕美 様

●メリハリのある介護

在宅介護はエンドレス。三六五日、二十四時間の介護が必要。家族だけでは続けることが困難であり、ショートステイやデイサービスなどの介護保険サービスを活用してメリハリがで、続けることができるものです……とインタビューの中で話しておられます。

ショートステイやデイサービスの利用に消極的な人もいますが、ショートステイやデイサービスに多めに摂らせようとか、色を確認したり出来る」といわれます。気になるときは、早めにお医者さんに診てもらおうそうです。健康管理にも役立っており、ただ、些細な変化も見逃さないさなの、奥様です。

この間も、奥様が顔色の変化を見つけれ、病院で調べてもらった結果やはり黄疸がでていました。「これは家内ではないと見つけられませんか」と笑い飛ばしておられます。

でいろいろな刺激を受けることもプラスになっています。

キシ様にとってこれらのサービスは楽しみの一つにもなっており、生き甲斐にもなっているようです。昼間、一人でポツンと部屋にいてもさみしい。ショートステイやデイサービスから戻ってくると「いかったいや」と話してくれます。

訪問看護の方からは高齢のため弱くなった皮膚に塗る薬や特殊なガーゼ

の入手法など専門的なことを学びました。入院した時には看護師さんからオムツかぶれに効く薬の紹介をされました。オムツは長岡市から配

給される通常のオムツとヒューマニー用のものを併用します。専門職からノウハウを学び、公的機関からの支援をいただいで、

介護保険で行なう

住宅改修工事に

無くてはならない人

どんな床組かな？
床下を覗き込んで、
構造を調べる①



七十四歳の現役大工さん



玄関の上がり段であるケヤキの欄を再利用！
ベテランの技が冴える②

○途中でこの道に

仕事が早く腕がいい！
弊社の住宅改修の仕事を協力くださる笹川さんは、お客様とスタッフか

らの信頼が高く評判の大工さんです。

昭和五十三年までの二十二年間は日本ステレンスに勤務し、その後、一人で大工職人となって、

みんな介護していると思えば、「介護も楽で幸せ」を感じますとご夫婦は口をそろえて仰っておられました。最近、二年前より、体調が良く

七十四歳のいまま現役です。

大工の世界は徒弟制度が厳しく、当初は仕事がありませんでしたが、次第に評判の輪が広がって仲間の仕事をするようになったそうです。

○ベテランの味

介護保険を活用した住宅改修の経験も十年以上となり、いつもきれいに仕上げてもらっています。

築〇十年の立派なお宅の工事でも、できるだけ再利用をして費用を抑える姿に、お客様も「経験を積んでんなるから（積んでいなるから）、感覚が読めるんだね。ベテランに来てもらってよかった」と感心されます。

お客様にとっては一つひとつに思いのある住まいの改修では、新しい部材に置き換えるのか、従来の部材を再利用するのか迷うことがあります。でも地球環境にもやさし

なっている」とお医者様から言われたそうです。

きつとお二人が幸せと思う気持ちがキシ様を元気にしているのではないかと感じた取材でした。

くなります。そんなお客様の願いにも「それじゃ、やるだけやってみるかね！」とチャレンジしてくださる頼もしい大工さんです。

○パワーと笑顔

趣味は卓球とゲートボールと野菜作り。会社勤めの頃にはアルペンスキーの大会にも出場されていました。そこで鍛えたパワーは今でも衰えずに休むことを知らずに仕事に出かけるため、電話での連絡に苦労するほどです。

それでも小学生のお孫さんには弱く、仕事の合間にお孫さんの話をする笹川さんは目尻が下がったばなしの、やさしいおじいちゃんの顔になります。同時にさくらメディカルの福祉住環境部門にとっても無くてはならない顔でもあります。

上越営業部福祉住環境グループ 木浦優紀（二級建築士）

認知症ケア研修会

「お客様本位の質の高いサービスを提供」を企業理念の一つに掲げているさくらメディカルでは、質の高いサービスを提供できる人



質問に耳傾け、わかり易く答えられる河田さん。

研修



金沢先生（左）の指摘はするどい

スキルアップ研修便り

金沢先生「それは古い考え方ですね！」受講者「えッ...」元氣よく手を挙げて四番目に発表した受講者が報告をはじめると、金沢先生より鋭いご指摘。それから、ユーモアを交えたいつもの「眼から鱗」の楽しい研修が始まります。

一月から毎月一回、金沢善智氏を講師にお迎えして開催しております「地域No.1の福祉用具専門相談員になるためのスキルアップ研修」では毎回、事前課題として各自が勉強してきた宿題の発表があり

目から鱗

脳卒中の要因と後遺症に対するアセスメント

一人者でもある金沢先生は、常に最新の知識を吸収し、また、最新の学説を私たちでも理解できるように解説してくださいます。

ます。五月十四日の研修では、高齢者に最も多い疾病でもある「脳卒中」がテーマでした。医学博士であり、福祉用具と住宅改修の第

ないに対応できないことや、たった一本の手すりであっても必要な場所に取り付けなければ平衡感覚を補う舗装具としての役割を果た

なお、当日の講義では、脳卒中の要因と脳卒中による後遺症に対するアセスメントのポイントを学びました。「感覚障害」は「麻痺」のように外観では見る

感動の涙

介護される人の人生、する人の生活を大切に

当日は、訪問介護（二箇所）と訪問入浴介護、居宅介護支援（四箇所）で働く社員約九十人が参加しました。今回の研修では、新潟市東区の民家を利用した常設型の地域の茶の間「うちの実家」の代表で

話しに共感し、感動する社員が次々と現れ、講師と在宅介護の現場で働く参加者の心が一つになったと有意義な一時間半となりました。

在宅での暮らしを支えるまた、在宅介護では、

余裕が欠かせません。河田さん

もある河田圭子様を講師にお招きし、「認知症ケア」に関するご講演をお願いしました。

介護される人の人生を大事にしたければ、まずは介護する人の生活に

家族だからできることと、職業人・専門職だからこそできることがあり、この違いをお互いに「宝」として認識することも大切です。そして、このお互いの宝を合わせることで、介護される人のいい笑顔や輝いていた人生を引き出せます。家族だけでは大変なことに「辛い介護」と感じられるような状況であっても、訪問介護などのサービスを利用したり、福祉用具や住宅改修の活用によって住環境を整えることによって、介護される人も介護する人も楽になり、お互いにいい顔にな

八月二日（新潟ユニゾンプラザ）と三日（上越文化会館）には、金沢先生を講師にお招きし、ケアマネジャーの方々を対象としました「公開事例検討会&講演会」の開催が決定しました。詳しくは次号（十月発行予定）でご報告します。

介護ショップ紹介

本社ショップ

イメージを一新

ウィンドーにさくら模様をちりばめて



スタッフの保坂さん（左）と杉田さん（右）

上越市の県立中央病院から徒歩三分の近距離にある「本社ショップ」は、介護ショップさくらメディカルの一号店として平成十一年にオープンしました。和風の瓦屋根が特徴の本社ショップでは、ご来店のお客様より「介護のお店と気づかずに通りました」との声をいただきました。そこで今春、お客様の声を活かしてイメージを一新。大きなガラスにはさくらの模様を散りばめ、

一目見て介護のお店だとわかるようになりました。車いすでもゆったりと買い物ができる店内には、日常の生活に必要な商品や便利な商品を数多く取り揃えており、実際に商品に触れていただくことができます。

また、お客様との会話の中から得られる新しいニーズを掴みながら、お客様のお役に立つことができる介護ショップを目指しております。

夏向けのお薦め商品も入荷中です。皆様のご来店をお待ちしております。本社ショップ 保坂美奈（福祉用具専門相談員）

れる方法があります。介護のことならどんなことでも遠慮なく、お近く

のご相談ください。

